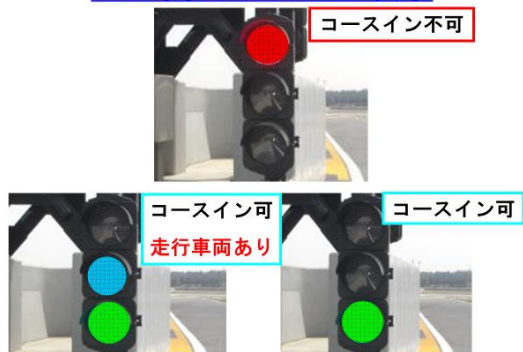


FUN&RUN! 2-Wheels ライダーズブリーフィング資料 (タイムアタック形式)

1.コースイン・ピットイン時の注意

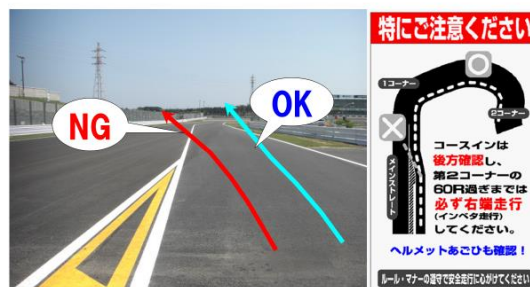
1)

ピット出口のシグナル表示



2)

コースイン方法について



3)

ピットレーン制限速度開始ライン



4)

ピットレーンの速度制限



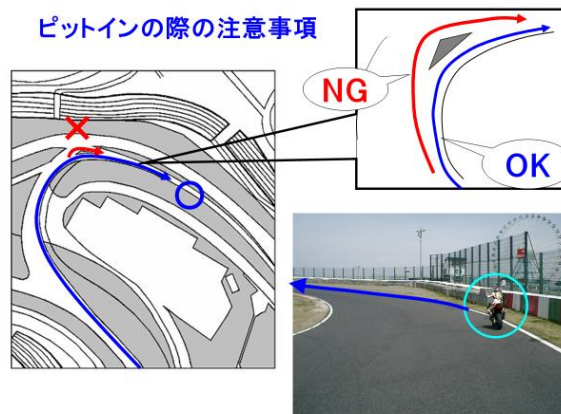
5)

ピットレーン制限速度終了ライン



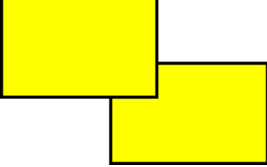
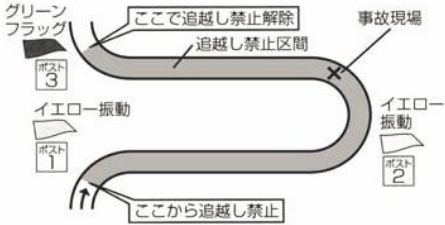
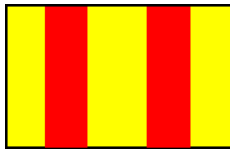
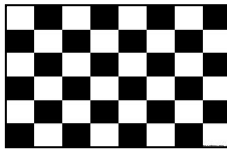
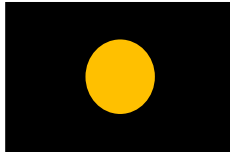
6)

ピットインの際の注意事項

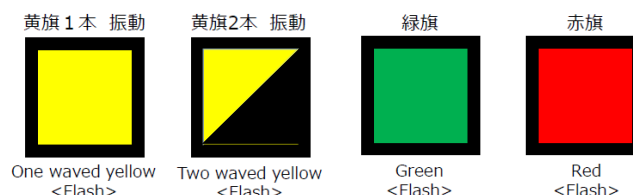


2.フラッグ等について

ライダーは、掲示されるフラッグ・ライトパネルを確認する義務がある。※違反した場合は罰則を科す。
ストレート上でもフラッグやボードの見落としがないように注意すること。

	【黄旗 1 本】 振動表示 表示ポスト前方にてトラブルが発生。減速し、緑旗提示ポストまで追い越し禁止。		【黄旗 2 本】 振動表示 表示ポスト前方コース上にトラブルが発生。減速し、緑旗提示ポストまで追い越し禁止。」
■黄旗の基本的な出され方  コースの前方に転倒などの危険な状況が起きていることを知らせています。ポストでは黄旗を振動させて知らせますので、そのポストから追い越し禁止となります。最大限の注意を払いながら危険な状況が起きている地点を通過します。さらに、追い越し禁止は続き、緑旗が提示されるポストを過ぎたら追い越し禁止が解除されます。黄旗の振動に代わりに、イエローライトの点滅によって危険を知らせる場合もあります。			
	【赤旗】 走行中断。減速し、ピットに戻らなければならない。		【オイル旗】 コース上が滑りやすい状態の時、提示される。(オイル漏れ、落下物なども含む。)
	【チェッカー】 走行終了。速度を落とし、その周でピットインをすること。 先頭でチェッカーを受けた車両が通過するタイミングでコントロールラインのフラッグ台(00P)及びインフォメーションパネル(スタートライン上)の計 2 箇所でチェッカーを提示。 <u>ダブルチェッカー防止のため、ストレート走行中でも必ずフラッグ台を確認し、見落とさないこと。</u> ※チェッカーフラッグ提示後、各ポストで黄旗が静止表示される。	 	【オレンジボール+ゼッケンボード】 <u>ピットまで戻らず速やかにコースアウトし、最寄りの安全な場所に車両を止めること。</u> ※大量のオイル漏れ等、危険を及ぼす恐れのある競技車両が発見された場合、即当該ライダーに警告するため、旗のみ表示を行う場合がある。
	【白旗】 救急車等の介入車両があり、この介入車両を追い越すまで他のライダーを追い越す事は禁止される。		【黒旗+ゼッケンボード】 当該車両は直ちにピットに戻り、オフィシャルの指示を受けること。
	【青旗】 後方よりペースの速い車両が接近し、追い越される場合に振動表示にて提示される。		【緑旗】 コース規制の解除ならびに、提示ポストから黄旗の解除を示す。 レース以外の走行の1周目に各ポストで表示される。

・ライトパネルの表示例



3.フリー走行について

フリー走行の時間は 15 分とする。

4.タイムアタックについて

1)タイムアタックの走行時間は 15 分とする。

2)順位決定方法について

同タイムの場合はセカンドベストラップ同士を比較し順位を決定する。

5.走行にあたっての注意事項

- 1) スロー走行を余儀なくされた場合は、後方に注意し極力右端(ピットレーン入口側)を走行すること。
- 2) 重大なマシントラブル発生時、速やかにコース外グリーン奥の安全な場所へマシンを止めること。
- 3) 転倒したらすぐに安全な場所へ退避すること。負傷で退避が困難な場合、大きくアピールすること。
- 4) 可能な限り、オフィシャルの車両撤去に協力して下さい。
- 5) 転倒、オーバーラン後のコース復帰時は、必ず後方確認を行うこと。
- 6) エンジントラブルや転倒車が出したオイルにより、後続車を巻き込む重大事故が発生しているため、オイル旗提示時は路面状況を確認すること。
- 7) 他の車両を追い越す際は、接触のないようにすること。

基本的にレコードラインを走行する者に優先権があり、抜く側は追い越しのリスクを認識しておくこと。

①追い越した後、レコードラインに戻る際は、抜いた車両のスペースを意識しておくこと。

②走行ラインを譲る際は、追突事故の原因となる為、急なライン変更や、急減速をしないこと。

6.その他・注意事項

- 1)天候の急変等で、走行スケジュールを変更する場合があります、場内放送等に気をつけること。
また予備のガソリンや工具等は、予めピット前に準備しておくこと。
- 2)走行時には、必ず車検に合格・登録したヘルメットを使用すること。※複数個登録することもできる。
- 3)車両整備は、オイル漏れやカウルの脱落など車両トラブルがないように徹底して行うこと。
※オイルをコース上に撒いた当該ライダーおよびエントラントに対しては罰則を科す。
- 4)ヘルメットやリムーバーのあご紐、レーシングスーツ、ブーツのファスナー等は完全に閉めること。
- 5)エアバッグ装着義務者は走行中の転倒等でエアバッグが展開した場合、
2023 MFJ 国内競技規則付則 4 10-2-1-7 2) に基づいた運用とする。

以上